

2025(令和7)事業年度

決 算 報 告 書



2025(令和7年)事業年度 決算報告書

国立大学法人鳴門教育大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3,511	3,695	184	(注1)
施設整備費補助金	1,153	857	△ 296	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	61	106	45	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	-	-	-	
自己収入	604	564	△ 40	
授業料、入学科及び検定料収入	569	523	△ 46	(注4)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	35	40	5	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	121	172	51	(注6)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	243	107	△ 136	(注7)
引当特定資産取崩	39	4	△ 35	(注8)
計	5,732	5,505	△ 227	
支出				
業務費	4,421	3,942	△ 479	(注9)
教育研究経費	4,421	3,942	△ 479	
診療経費	-	-	-	
施設整備費	1,153	694	△ 459	(注10)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	37	38	1	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	121	171	50	(注12)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	5,732	4,845	△ 887	
収入-支出	-	660	660	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、物価・人件費の上昇等への対応分として教育・研究基盤維持経費の予算が追加配分されたこと及び教育研究組織改革として令和6年度に措置されていたものを繰越したことにより、予算額に比して決算額が184百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、主として、計画変更に伴い、(南前川(附幼))園舎改築事業が繰越となったため、予算額に比して決算額が296百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、授業料等減免費交付金が69百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。また、授業料等減免費交付金については、予算段階で予定していた見込額を上回ったこと等により、予算額に比して決算額が45百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学科及び検定料収入については、主として在籍者の減少や免除申請者の増加等で授業料が減少したことにより、予算額に比して決算額が46百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として、受取利息が見込額を上回ったことにより、予算額に比して決算額が5百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として、国及び独立行政法人からの受託事業の受入、並びに、鳴門教育大学基金に係る寄附金受入が増加したため、予算額に比して決算額が51百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、執行計画を見直したことにより、予算額に比して決算額が136百万円少額となっています。
- (注8) 引当特定資産取崩については、執行計画を見直したことにより、予算額に比して決算額が35百万円少額となっています。
- (注9) 業務費については、主として、教育研究経費の削減に努めたため、予算額に比して決算額が479百万円少額となっています。
- (注10) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が459百万円少額となっています。
- (注11) 補助金等については、予算段階で予定していなかった物価高に対する食の支援事業助成金の交付を受けたことにより、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注12) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が50百万円多額となっています。また、決算額171百万円には、前年度以前における寄附金の繰越額を当年度に執行した金額5百万円を含んでおりません。